科目名	政策過程論	担当者	福島 康仁	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
				授業時間数	90分×1	5回	必修選択		公共政策

【関連するDP・CP】	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
(DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
に関する方針)	0		0	0				

【授業の概要】

我が国における行政機関、とりわけ地方公共団体における政策課題の発見から政策形成段階、政策実施、政策過程の各段階を学修したうえで、その課題を検討する。講義では、行政機関での審議会委員の経験を生かして行政活動の実態についても学修する。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)

政策形成過程の各段階の問題点を理解している。また、どのような作業や手法があるのか説明できる。

【履修条件】

公務員志望である必要はないが政策形成と実施について関心があること。公共政策論を履修していることが望ましい。

【授業方法】

講義を聞いたうえで、授業内の課題を提出すること。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無

有

アクティブ・ラーニングの形態

期間中リアクションペーパーを配布しそれに答えることで、学生の能動的かつ本質的な理解の助けとなるように努める。

			·											
【到達目標】(Specific Behavioral Objectives:SBOs 個別行動目標)														
		A-1	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	挑戦力										
ルーブ	リック評価項目の	A-2	-2 日本及び世界の社会システムを理解し説明するカ A			コミュニケーションカ								
	内容	A-3	論理的・批判的思考力	A-7	リーダー	リーダーシップ・協働力								
		A-4	問題発見・解決力	A-8	省察プ	ל								
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			関連す	るルーフ	ブリック評	平価項 目	目の達成	戊レベル	,		
			達成されるべき具体的行動		A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8		
1	公共政策・産業の		2											
2	政策過程を批判的・論理的に分析し、説明できる。						2							
3	政策過程に内在する問題点を発見し、その解決策を提案できる。							2						
4	効率的、効果的 <i>*</i>	な行政	運営などを自ら考案し、提案できる。					2						
5														
6														
7														
8														
9														
10														

【成績評価の方法					評価方法別の							
成績評価方法	評価基準	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	10	比率(%)
試験(定期試験/授業内試験)	到達目標②③④について自分の言葉で説明できているかを 筆記試験により評価する。		40	40								80
小テスト等												
レポート等												
討論·発表等	到達目標①③④にかかわる説明能力が身についているかを評価する。	5		10	5							20
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
	到達目標別の比率(%)	5	40	50	5							100

【課題に対するフィードバックの方法】

ポータルサイトを利用して適宜課題に対するフィードバックをおこなう。

【教科書·参考書等】										
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度					
必携自治体職員ハンドブック	公職研編集部	公職研	2019	参考書	任意					
備考	·	•								

【オフィスアワー】

メール (fukushima.yasuhito@nihon-u.ac.jp)など相談すること。

【実務経験を活かした実践的教育について】								
担当教員の実務経験の有無	有	実務経験の内容	自治体審議会委員					
実務経験に基づく実践的教育の内容		審議会の委員とし	ての経験を生かした講義をする。					

	T		日・時限にて同授業を開講の場合は,併記を行っている。 				
回数		テーマ	内 容				
	政策過程と マについて		- 政策過程論の講義の展開、評価方法、学習の技法について学修する				
1	この回の到達目標	政策過程について説明で					
		政策過程とはなにか、簡	育単について調べてみる	120分			
	事後学修	分権時代における政策過	過程とはなにか考えてみる。	120分			
	政策過程と	はなにか	行政機関における政策形成、政策実施、政策評価をめぐる現状と課題について学修了	ナる			
2	到達目標	政策過程について説明で					
	事前学修	政策形成について調べる		120分			
	事後学修	政策形成の課題について	に明らかにする。	120分			
	行政のサイ	クルとその意味	行政のサイクルについて学修する。				
3	この回の 到達目標	到達目標					
	事前学修						
	事後学修	本日の講義の具体例につ	ついて整理する	120分			
		の前提過程 一	問題の発見と課題の設定について学修する				
4	到達目標						
	事前学修	行政課題と社会の課題の		120分			
	事後学修 行政課題について政策的思考について整理する						
	政策の立案	のための分析過程	政策課題の分析と明確化、そして狭義の政策立案について学修する				
5		して狭義の政策立案につ		と明確化、そ			
			r / 7				
	事前学修	政策課題について調べて		120分			
	事 則 字 修	政策課題について調べて 政策立案についてについ					
	事削字修事後学修						
6	事削字修 事後学修 政策の立案	政策立案についてについ における課題発見	いてまとめる				
	事削字修事後学修政策の立案	政策立案についてについ における課題発見	いてまとめる 問題の発見や課題の設定に関する手法について学修する Eに関する手法について説明できる	120分			

			星日・時限にて同授業を開講の場合は,併記を行っている。 ────────────────────────────────────							
回数		テーマ	内 容							
	政策の立案	のための情報収集	効果的な情報提供とコミュニケーション実現の手法について学修する							
7	この回の 到達目標	効果的な情報提供とコ	ミュニケーション実現の手法について説明できる	<u></u> ュニケーション実現の手法について説明できる						
	事前学修	新聞から政策課題を抜	き出してみる。情報提供の方法について検討する。	120分						
	事後学修	講義で行った手法につ	いてまとめる	120分						
	政策実施の	研究	政策実施研究の実態について学修する	,						
8	この回の到達目標	政策実施研究の現在に	こついて説明できる							
	事前学修	政策実施とはなにか調	べてくる	120分						
	事後学修	政策立案と政策実施の	関係を理解する。政策実施の研究論文を読む	120分						
	規制行政の	実施と実態	規制行政の政策実施について学修する							
9	この回の到達目標	規制行政の政策実施の	方法や課題について説明できる							
	事前学修									
	事後学修	規制行政の政策実施の	方法についてまとめる	120分						
	給付行政の	実施と実態	給付行政の政策実施について学修する							
10	この回の 到達目標	給付行政の政策実施の	方法や課題について説明できる							
	事前学修	給付行政について考察	してくる	120分						
	事後学修	給付行政の政策実施の	方法についてまとめる	120分						
	ストリート 点	レベルの実施過程の問	題 ストリートレベルの政策実施について学修する							
11	この回の到達目標	ストリートレベルの政								
	事前学修	ストリートレベルの公	務員の特徴について検討してくる	120分						
	事後学修	ストリートレベル特有	の政策実施についてまとめる	120分						
	現代の政策	実施課題の課題	政策実施過程の現代的課題について学修する							
12	この回の 到達目標		課題について議論できる							
	事前学修	今までの議論を整理し	てくる	120分						
	事後学修	政策実施過程の現代的	課題について自分なりの見解をしめす	120分						

【授業	計画】※日程について、複数の曜日	・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。	
回数	テーマ	内 容	
	政策評価とはなにか	政策過程システムにおける政策評価の意義について学修する	
13	到達目標	」 る政策評価の意義について学修するか説明できる	
	事前学修 前回の議論について理解・	する こうしょう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	120分
	事後学修 政策評価の構築のための野	環境整備について検討する。 	120分
	政策過程の応用	政策評価と政策支援について議論し学修する	
14	この回の 政策過程の地域づくりたと 到達目標	めの応用についての可能性について検討する。	
	事前学修 政策過程の地域づくりたと	めの応用についての可能性について検討する。	120分
	事後学修 政策過程の応用についての	り可能性について検討する。	120分
	全体の総括	これまでの授業で扱った政策過程構築の考え方について学修する。	
15	この回の これまでの授業で扱った 到達目標	文策過程の基本的な視点について他人に説明できる。	
	事前学修 政策過程制度について他	人にプレゼンできる準備をすること。	120分
	事後学修 他人からの質問や意見を	まとめて整理しておくこと。	120分